

診療放射線技術学科【基礎分野】

必修科目

選択必修科目

選択科目

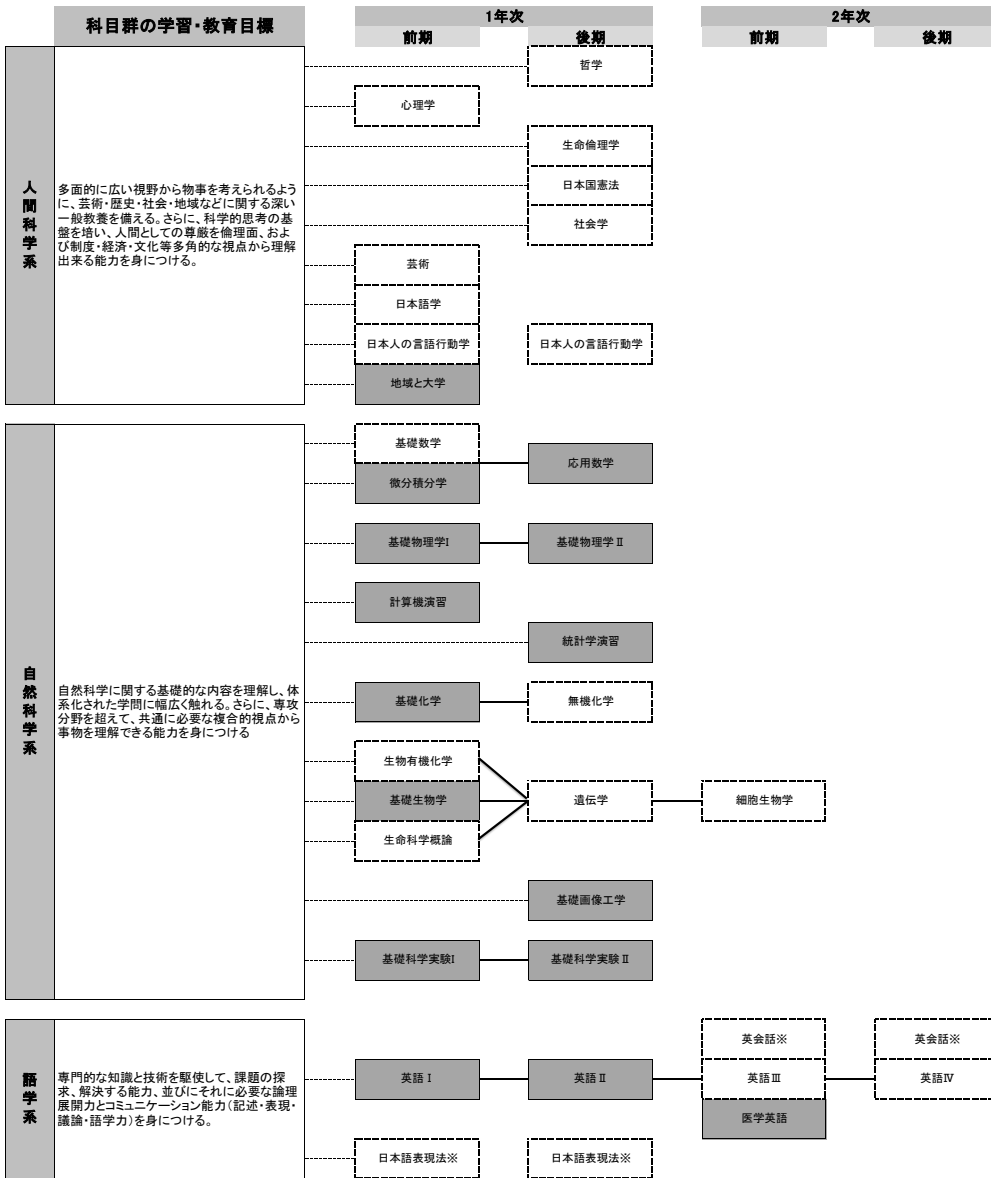
太い線は、科目間の関連を示します。

★3・4年次の選択科目はありません。

※複数開講科目

■学習・教育目標■

幅広い分野にわたって教養を養い、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とする医療職者としての倫理観を持ち、日常場面、職場、研究の場において必要な基礎的な他言語のコミュニケーション能力を持つ人材を養成する。



診療放射線技術学科【専門基礎分野】

必修科目

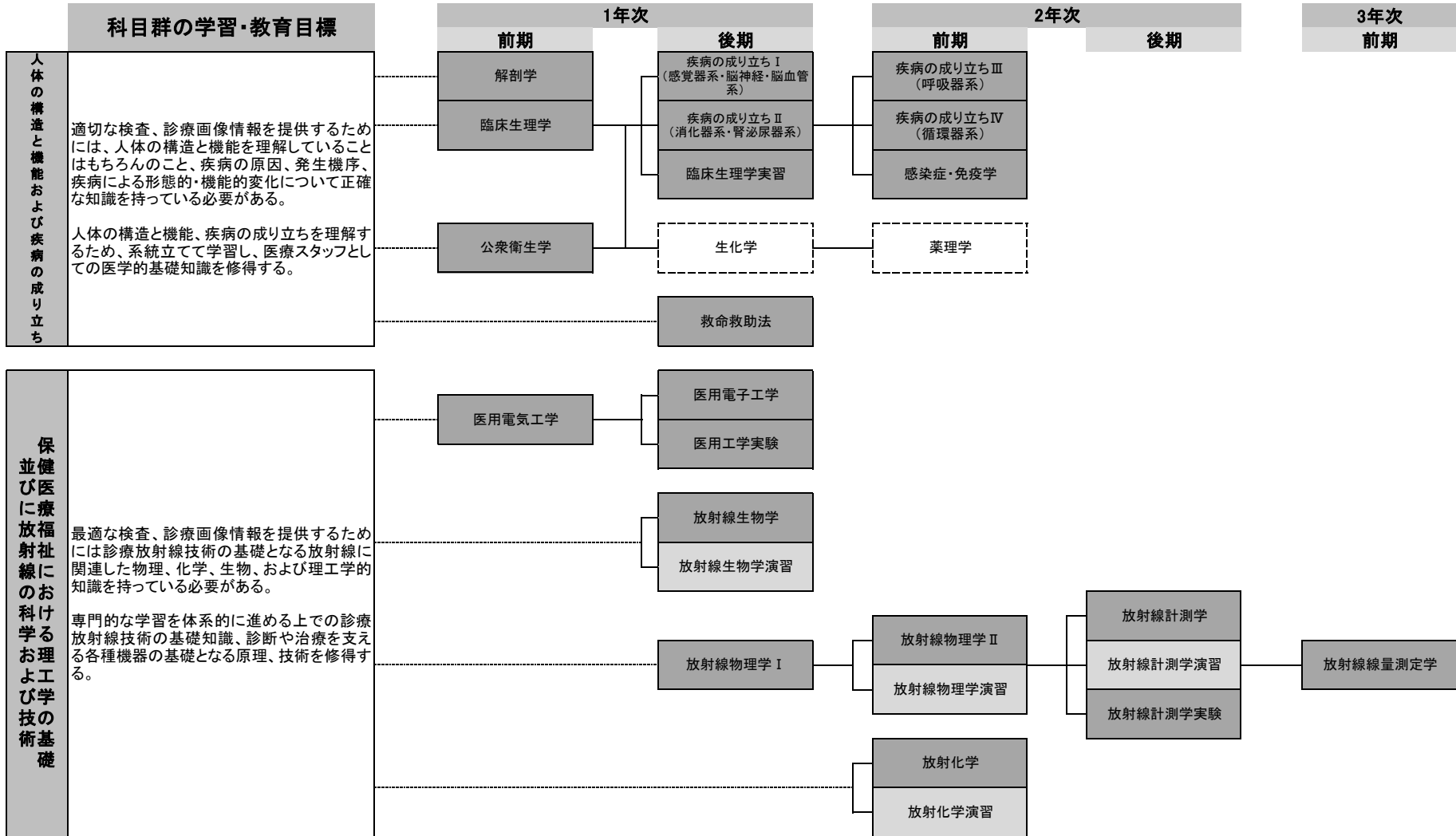
選択必修科目

選択科目

★太い線は、科目間の関連を示します。

医療スタッフに必要とされる医学知識を系統立てて学び、医療技術の進歩に対応できる理工学基礎を修得するとともに、診療放射線技師を目指すための基礎知識・技術を身に付け、専門科目を理解する能力を養う。

■学習・教育目標■



診療放射線技術学科【専門分野】

必修科目 選択必修科目 選択科目
 太字は、科目の履修を併しず。 太1年次の履修科目はありません。 矢印は履修科目

■学習・教育目標

科目群の学習・教育目標

診療画像技術学

- ・X線を用いた画像検査から超音波、MRI検査まで、その基本的特性、原理を理解し、検査対象となる部位、臓器の撮影(法)とその特徴を修得する。
- ・画像上に描出される疾患の画像特性について理解を深め、目的に応じた生体機能の情報を適切に描出するための実践的な技術を修得する。
- ・画像診断を支える画像検査機器の原理、技術を修得する。
- ・最適な画像情報を提供することができ、高度な読影能力を有する診療放射線技師を目指すための基礎知識を修得する。

核医学検査

- ・放射性医薬品の分布や動態を機能や代謝情報として画像化するための、機器工学的知識や放射性医薬品の生体内での挙動を理解し、検査の適応、撮像の原理、画像処理など、臨床が必要とされる核医学検査技術を修得する。

放射線治療

- ・がんの集学的治療を考慮、腫瘍や正常組織に対する放射線の影響を理解するための放射線生物学や、放射線の性質や治療装置などの放射線物理学を基礎として、放射線治療の適応、臓器別治療法、臨床が必要とされる放射線治療技術を修得する。

医用画像情報学

- ・医用画像の基礎知識を身につけるため、アナログ画像であるX線画像の特性と、画像形成、および画像処理の理論と方法を修得する。また、デジタル画像の基礎理論を学び、画像のデジタル化、デジタル画像の特性、画像処理、画像評価の理論と方法を修得する。さらには、画像情報・医療情報の収集と効率のよい運用のための、ネットワーク技術、放射線診療にかかわる各種病院システムの構築、運用など、電子化された画像管理のセキュリティ、また得られた情報のマネージメントの基礎を修得する。

安全放射線学

- ・医療放射線の安全利用には、その正当化、医療被ばくの軽減など放射線防護の最適化が必要である。正しい取り扱い、放射線の有効活用を進めるために、放射線防護、安全管理のための基礎知識、実践的技術を修得する。
- ・放射線の利用は法令により規制されており、法令の意図と目的を学び、医療被ばくの低減、放射線障害の防止を推進するための知識を修得する。

医療安全管理学

- ・医療過誤の法的責任、組織的な医療安全管理体制および医療事故防止の考え方について学び、医療の質と安全を確保するためのシステムとしての医療安全管理の考え方・組織体制、医療事故を未然に防ぐ知識と心構えを修得する。
- ・医療に関連する倫理的諸問題について検討し、医療倫理とは何かを考える。これらをベースとして、将来、患者から信頼される医療人になるために必要なことは何かを学ぶ。

臨床実習

- ・画像検査技術学、核医学検査技術学、放射線治療技術学で修得した知識、技術をもとに、臨床現場において必要とされる検査技術や診療画像情報に対する適切な判断力、患者への接し方など、質の高い医療を実践するための能力を修得する。
- ・臨床における診療放射線技師としての患者を中心とする医療チームにおける位置づけとその役割について学ぶ。さらに、ハード、ソフト面でのリスクマネージメントの構築と実践について修得する。

総合領域

- ・専門分野における講義、演習、実験で修得した診療放射線技師となるための知識の総まとめを行う。
- ・卒業研究では基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識、技術の中から、最も関心があり探求したいテーマを取り上げ、調査や実験を行い卒業論文としてまとめる。また、卒業論文発表会を行いプレゼンテーション能力を修得する。

